

# NHKアーカイブス 「この子らを世の光に～ともに生きる社会をめざして～」

10月23日（日曜）NHK総合テレビ 午後1時50分～2時55分

9年前に初回放送された「糸賀一雄 ラストメッセージ」の再放送があります。スタジオでは藤井克徳 JD 代表が出演します。

\*\*

今年7月、神奈川県相模原市で障害者の施設に男が侵入し19人を刺殺した事件、「障害者は生きていても仕方ない」という容疑者の発言が大きな波紋を呼んだ。いま見直されている言葉がある。「この子らを世の光に」。障害者福祉の父、糸賀一雄の言葉。障害者一人一人が光り輝く存在だということを訴え続けた彼の人生を描いた番組から、障害者と健常者がともに生きる社会は実現できるのか、その大切さを事件から3か月改めて考える。

【出演】日本障害者協議会代表…藤井克徳、【キャスター】森田美由紀（解説、字幕放送あり）

<http://www4.nhk.or.jp/nhk-archives/x/2016-10-23/21/8682/1845506/>

10月 日曜 NHKG 午後1時50分～午後2時55分

23日 NHKアーカイブス「この子らを世の光に～ともに生きる社会をめざして～」



今年7月、神奈川県相模原市で障害者の施設に男が侵入し19人を刺殺した事件、「障害者は生きていても仕方ない」という容疑者の発言が大きな波紋を呼んだ。いま見直されている言葉がある。「この子らを世の光に」。障害者福祉の父、糸賀一雄の言葉。障害者一人一人が光り輝く存在だということを訴え続けた彼の人生を描いた番組から、障害者と健常者がともに生きる社会は実現できるのか、その大切さを事件から3か月改めて考える。

【出演】日本障害者協議会代表…藤井克徳、【キャスター】森田美由紀

解 解説 字 字幕放送

糸賀一雄 NHK アーカイブス ラストメッセージ「この子らを世の光に」初回放送 2007年3月20日(火)

<http://www6.nhk.or.jp/special/detail/index.html?aid=20070320>

ラストメッセージ  
第6集 この子らを世の光に

ツイート シェアする チェック + 共有する ?

※NPO団体の登録を要します

初回放送  
2007年3月20日(火)  
午後10時00分～10時59分

関連ジャンル  
人物





国中が食うや食わずの窮状にあった昭和21年に設立された、日本初の公的施設「近江学園」。当時のフィルムには、寝食を共にし生き生きと暮らし出す障害児と職員たちの姿が記録されている。それはまさに「福祉」の原点である。

近江学園を設立した糸賀一雄(1914-68)は、「障害者と健常者が区別なく暮らしあえる社会を」と訴え続け、成人のための施設、女性のための施設、重度障害児の施設と、社会からこぼれ落ちていた弱者との暮らしを拡充していった。そして講演中、「この子らを世の光に」と語った直後、心臓発作によって志半ばで逝く。

糸賀にはその活動を支えた二人の友がいた。池田木郎(1908-87)は、大人になった知的障害者たちが自活できる施設を信楽町に設立。田村一三(1909-95)は、障害者と健常者とが施設ではなく同じ村人として生活する「茗荷村」を建設する。そこには三人がたてた誓い「共に生きる社会」への萌芽をみることが出来る。

番組では、三人の遺志を継ぐ三つの現場「近江学園」「信楽寮」「茗荷村」にカメラを据え、「三人の誓い」の今、そして明日を見つめる。